

## 第17回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 平成23年4月8日(金) 午後2時から午後4時まで

場 所 : 向日市役所 西別館 第6会議室(1階)

出席者 :

(委員) 吉川会長、井垣副会長、五十棲委員、佐藤委員、永井委員、西田委員、  
吉田委員

(事務局) 久嶋向日市長、大島上下水道部長、柴崎営業課長、松本浄水場長、  
山田下水道課長、中川上水道課課長補佐、石田浄水場係長、  
南口営業課係長、鹿島営業課係長、須藤営業課総括主任

傍 聴 : 0 名

### 1 あいさつ

市長

本日は、第17回向日市上下水道事業懇談会を開催させていただいたところ、皆様お忙しい中にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。

まずは、東日本大震災で被害に遭われた皆様へお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を祈願いたします。

さて、先日、本市水道料金の適正化について、ご提言いただけるよう、お願いしたところではありますが、3月17日の市議会で本市水道料金の引下げが決定されました。

当懇談会の委員の皆様には、ご検討をお願いしていたにもかかわらず、こういった結果になり申し訳なく存じておりますが、今後も水道事業経営の安定化のため、全力で取り組んでまいりますので、よろしくご指導賜りますようお願いいたします。

(市長退席)

### 2 議事

#### 【「向日市水道ビジョン」パブリックコメントについて】

委員

(49ページ)管路の計画的な更新が1.5kmから700mになったのはなぜか。

事務局

老朽化したものを耐震管に替える分のみでは700mになります。

委員

更新の順番は。

事務局

漏水の多い塩化ビニール管から実施していきます。

委員 地下水源、府営水道、京都市との分水協定により、多種多様な水が供給できるので安全であると書いてほしい。

委員 安定的に水が供給できる体制があると読めるので、私はこれでいいと思う。

委員 (7ページ)水需要量の推移は、年間給水量と1人1日平均給水量が減少しているのがよくわかってよい。(12ページ)物集女西浄水場浄水処理フローは、それぞれの役割を書くとわかりやすい。(16ページ)「大腸菌・嫌気性芽胞菌」、(26ページ)「PCコンクリート」「NS形継手」の注釈がほしい。(20ページ)「塩素臭」と「鉛製給水管率」、(25ページ)「経年化設備率」が、なぜ悪いかの説明が必要である。

事務局 ご指摘いただいたものは注釈を付けます。

委員 (20ページ)水質の悪い理由を入れてはどうか。

事務局 説明を入れるか検討します。

委員 鉛製給水管率は低いのがいいのか、悪いのか。

事務局 偏差値に直していますので、偏差値が低いということは鉛製給水管率が高いということです。予算の範囲内で偏差値を上げていくよう努力します。

委員 今後の水量の見込はどうか。

事務局 キリンビール跡地、洛西口付近の北部開発で人口が増えると思いますが、1人当たりの給水量は減る傾向なので、全体の水量は横ばいを見込んでいます。

委員 パブリックコメントはどのように出すのか。

事務局 ホームページと各公民館に置いて市民の皆様に見ていただき、意見を聞きます。整理をしたあと、懇談会で皆さんに見ていただく予定です。

委員 広報にはパブリックコメントについて載せるのか。

事務局 5月15日号の広報で、ホームページへの掲載と施設に設置することを載せます。

委員 ホームページの閲覧ができない方に、紙ベースのパブリックコメントはないのか。

事務局 公民館や情報公開コーナーで閲覧できるようになっています。

委員 ビジョンには、技術的な面も必要であるが、誰もがすらすらと読めることも大事である。専門性を少し隠して、注釈を少なくしていただきたい。

事務局 バクテリアの名前など置き換えることが難しいところもありますが、再度チェックして、できるだけわかりやすくします。

委員 (57ページ)スケジュールで主だったものを掲載してはどうか。

【財政計画・施設整備計画について】

委員 なぜ、収益的収支の修繕費と資本的収支の建設改良費の両方に、鉛管の更新や老朽管の更新が組まれているのか。

事務局 基本的に個人が負担する鉛給水管は固定資産に計上していないため、収益的収支の修繕費になります。老朽配水管は今ある固定資産を撤去して、新しい管を入れるので、資本的収支の建設改良費に計上しています。

委員 根拠となる積算はどのようにしているのか。例えば、有収水量を求めるにあたり、給水人口や世帯数等をどのように見積もっているのか。

事務局 ビジョンに基づいて、前期5か年の財政計画を立てています。給水人口は、総合計画に合わせてビジョンに盛り込んでいます。修繕費や建設改良費は、年度ごとに事業計画を立てて積み上げています。

委員 毎年700mの老朽管を更新するなら一定額になるはずだが、一定にならないのは場所との関係か。

事務局 口径や管式、施工難度にもよります。

委員 借換債は、今後は難しいか。

事務局 以前は利率が6%、7%のものがいましたが、現在は2%未満のものしか残っていません。

委員 平成23年の1億円の起債の目的は何か。

事務局 阪急東向日駅踏切下の配水管布設替工事を予定しているためです。

委員 平成23年度から平成27年度は大きな更新はないのか。

事務局 5か年では大きな更新はありません。

委員 資料9で平成23年度以降給水人口が増えているが、有収水量が減っているのはなぜか。

事務局 人口は北部開発で増えますが、節水傾向や少子高齢化のため1人1日当たりの有収水量が減ります。

委員 5年後、ビジョンがどれだけ達成しているか判断することはあるか。

事務局 老朽管の布設替や鉛給水管については数値が出ますので、どれだけビジョンが達成できたか判断できます。

委員  
事務局 浄水場施設等の大きな更新がある場合は、企業債を発行して対応するのか。  
浄水場の耐震化等、大きな費用が発生するものは起債を充てます。

委員  
事務局 将来の起債を少なくする考えは難しいか。  
費用を減らすか、収入を増やすかしかありません。累積欠損金を減らして  
いくのが第一と考えます。

委員  
事務局 動力・薬品費が減っているのは、直営で浄水するのを減らすということか。  
府営水は基本水量の50%ほどですが、自己水を減らすと動力・薬品費が減  
ります。

委員  
事務局 料金面では安くなるのか。  
このままの水量でいくと、府営水の従量単価は必ず上がるので上がった単価  
で支払うのか、上がらないように府営水の水量を増やすのかも検討が必要で  
す。

委員  
事務局 例えば、原発があつたら違いますね。  
川の水が問題になりました。地下水は安全かと言いますと土壤汚染の問題が  
あります。どちらも一長一短があるので、両方あると安心です。

#### 【平成23年度下水道事業会計予算について】

#### 【平成23年度水道事業会計予算について】

委員  
事務局 5・6年前の決算で不能欠損が500万円くらいあつたと思うが、毎年10  
0万円ずつ増えて今は1000万円くらいか。

委員  
事務局 滞納対策として、昨年250件ほど停水をし、単年度では少しずつ滞納額が  
減ってきています。

委員  
事務局 (28ページ)1400万円の特別損失は滞納が回収できない金額か。  
不能欠損だけではなく、漏水によるものも入っています。

委員  
事務局 収入されない場合は欠損になるのか。  
収入されない場合は未収金になり、その後欠損になります。

委員  
事務局 累積されている未収金はどこでわかるのか。  
(15ページ)予定貸借対照表の流動資産の未収金が平成23年度末現在の  
未収金です。

委員  
事務局

きめ細かに収納対策をしているか。  
滞納状況により、水を止めています。

委員  
事務局

システムについてどれだけ支払っているのか。  
水道料金システムのリース費用として、5年間で6500万円計上していま  
す。

委員  
事務局

未収金はずっとあるのか。どこかで貸借対照表から消すことはないのか。  
5年で経理上不能欠損にします。

委員  
事務局

5年間でこれだけたまるのか。  
3月検針分はそのまま未収金になるので、年度途中で随分減り、そのままず  
っと残ることはありません。

委員

毎年1000万円の未収金が出る。ベテランのOBを雇い、滞納を回収でき  
たら未収金が解消できる。

委員

現実的には回収できないのでは。地方税事務所ができているが、思い切った  
ことができないから実効性がない。

事務局

水道料金については、水を止めることに批判はあります。しかし、まずは話  
をさせていただいています。